

薬味野菜を提案

バラ売り、少量で利便性も

ヤオコーはこのほど、

埼玉県鶴ヶ島市に「ヤオ

コー鶴ヶ島店」を開店し

た。東武東上線鶴ヶ島駅

から西側900mに位置

し、周辺は二戸建ての多

い住宅地となる。店舗3

キ圏内の人口は12万84

00人で、60代と30代後

半、40代前半がポリユ

ムゾーン。同圏内の世帯

数は5万4000世帯

で、单身世帯が最多とい

う。敷地面積は86003

平方m、売場面積167

0平方m。

ヤオコーでは「提案」

に注力。同店の青果売場

では普段の食事に本格メ

ニューの要素をプラスす

るべく薬味野菜の専用コ

ーナーを大きく設置。シ

ョウカ、ニンニク、オオ

バといった基本的な品目

以外にも西洋ハーブやワ

サジ、芽ネギ、穂シソな

ども扱う。また、カット

ネギも「九条ねぎ」、青ネ

ギなどを揃え、用途や好

みに合わせて選べるよう

配慮する。

また、少量・バラ売り

も、2分の1カットのプ

壁面に大きく展開する薬味野菜コーナー



ロッコリーなど少量パツクを用意するほか、イモ類やタマネギなどでは壁面にバラ売りコーナーを展開。さらに、鶴ヶ島市や日高市の生産者が出荷する地元野菜のコーナーも設置する。

このほか、デリカでは焼餃子を強化し、時間帯ごとに製造することで焼き立ての提供に取組む。また、女性客を意識した惣菜メニューを導入。寿司では本マグロの握り寿司やちらし・丼などを強

化する。さらに、デリカコーナー付近に「サラタ・サイドディッシュ」コーナーを設置。キヌアや雑穀を使ったサラタ、生春巻など、家庭ではなかなか作れない商品も揃え「もう一品買い」を促す。

営業時間は午前9時30分～午後9時45分、休業日は年間2日。初年度売上は15億円を計画。同店の開店により、ヤオコーの店舗数は147店舗となる。

入口すぐにある青果コーナー

